

Windows ログオンのセキュリティを 2要素認証で強化

Swivel Secure の 2 要素認証ソリューションは、ユーザ利便性を損なわずに Windows ログオン時のセキュリティを高めます



Windows10 のログオン画面に PINpad を表示

ログオン時のユーザ確認をパスワードのみで行う事はセキュリティ上大きな問題があることは、早くから指摘されてきました。このため最近では、なりすましを防ぐ為に 2 要素認証の導入が進められています。

Swivel Secure のトークンレスワンタイムパスワード (トークンレス OTP) は、導入コストが安価で管理コストも低く抑えることができ、さらにユーザの負担を増やさない、理想的な 2 要素認証ソリューションです。

ユーザフレンドリなトークンレス OTP

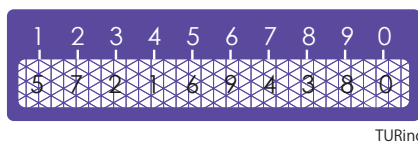
これまでのトークンレス OTP 製品とは違い、ユーザが覚えている 4 ~ 10 桁の PIN (Personal Identification Number) と認証毎に生成されるセキュリティストリングスやピンパッドを対応させて OTP を生成しますので、非常にユーザフレンドリで、管理者の工数もかからないのが特長です。

Your PIN	1	3	7	0						
Encrypted Security No.	5	7	2	1	6	9	4	3	8	0
Your one time code	5	2	4	0						

PINsafe テクノロジーは、4 ~ 10 桁の PIN コードとシステムが生成する乱数を使用してワンタイムパスワードを生成します。これによりユーザは 4 ~ 10 桁の PIN コードを覚えておくだけで、高いセキュリティレベルのワンタイムパスワード認証を行うことができます。

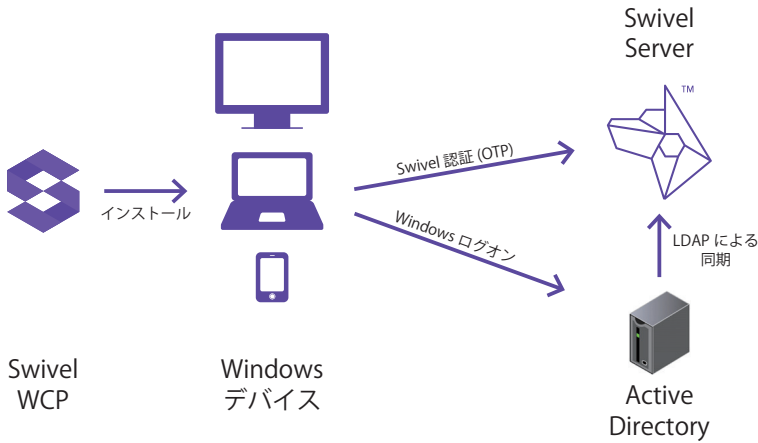
Swivel はユーザが「絶対に人に言わずに覚えらるる」4 桁の PIN でワンタイムパスワードを生成しますので、セキュリティとユーザ利便性を高いレベルで両立します。

認証方法には「TURing」と「PINpad」を用意していますので、お客様の運用形態、想定リスク、ユーザのリテラシーに合わせて選択可能です。



Windows と Swivel サーバの連携

Windows ログオンを Swivel サーバで制御するためには、端末の OS 画面を制御する必要があります。Swivel は、「Swivel Windows Credential Provider (Swivel WCP)」(無償)というエージェントソフトウェアを用意しており、これらを端末にインストールすることで簡単に Swivel サーバと連携することができます。



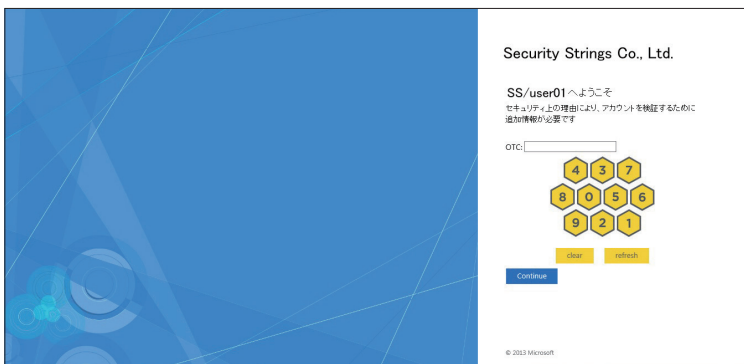
Windows デバイスに「Swivel WCP」をインストールし、Swivel サーバ側の設定を行うだけで、セキュリティ強度の高い認証基盤を簡単に構築できます。

Swivel WCP をインストールすると、Windows のログオン画面に、ユーザ ID とパスワードの入力後に OTP 入力要求画面が表示されます。したがって、ユーザ ID、パスワード、OTP の 3 つが揃わないとログオンできません。

トークンレス OTP の入力方法としては TURING と PINpad のどちらかをお選び頂けます。また、トークンレスで無いモバイルアプリ、SMS、キャリアメール、ハードウェアトークン等、トークンレスでない方式もお使い頂けます。

Office365 にも適用できる Swivel OTP

“Microsoft Office 365 は 2FA 導入を支持し、RSA と Swivel の 2 社を公式にサポートする”
Microsoft Steve Patrick



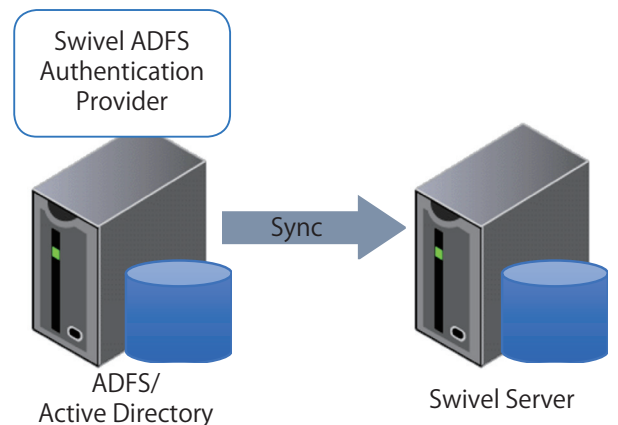
Swivel 認証ソリューションは Office365 の認証セキュリティを格段に高め、かつユーザ利便性の高いトークンレス OTP による認証環境を提供します。

簡単に Office365 のログイン画面をカスタマイズするための専用モジュールを無償で提供しています。

もちろん、各種トークンを使用した二要素認証にも対応しています。

無償でご提供する「Swivel ADFS Authentication Provider」を ADFS サーバに組み込むことで Office365 と Swivel を簡単に連携できます。

これにより簡単に、Swivel の誇るユーザ利便性の高いトークンレス OTP を Office365 の認証で使用することができます。



お問い合わせ